

地域まるごと支援員通信 - 第6号 -



(旧 生活支援コーディネーター通信)

発行:旭川市地域まるごと支援員(令和5年2月発行)

～「地域まるごと支援員」としての新たな1年～

令和4年5月から活動を始めた「地域まるごと支援員」。早くも1年が経とうとしています。地域の関係機関の皆様には温かいご支援・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、地域まるごと支援員の活動をお知らせするために発行している本通信、前号までは、地域づくりの取組や、ボランティア活動について紹介しておりましたが、第6号では今年度から新たに取り組んでいる「子ども・障がい・生活困窮などの世代や属性に関係なく、複合化・複雑化した課題を抱える方の支援」について具体的な事例を含めて紹介します♪

🔍 すすかけ冬休み食事・学習サポート事業 🎵

～神楽岡のすすかけを活用し、小学生を対象とした取組を実施しました♪～

夏休みや冬休みなど子どもの長期休み期間中の家事、育児は、普段より大変な事が多く、ひとり親・共働きに限らず、子どもを抱える世帯にとっての大きな悩みとなっています。働く親にとって、平日より子どもの長期連休の負担が大きいとの調査結果もあることから、長期休み期間の「食事」と「学び」を支援することを目的として、すすかけを活用した本事業を実施しました。今年度は神楽岡小学校に限定して周知を行い、5日間にぎやかな時間を過ごしました。



みんなで協力して調理をします♪



おいしい昼食が完成！



学生ボランティアさんと一緒に勉強もがんばります！



午後はボランティアさんと石を使った作品づくり♪



素敵な作品が完成しました！



最後はボランティアさんによるマジックショーで盛り上がりました♪

～地域まるごと支援員が支援に関わった事例を紹介します～

住居確保・金銭管理に課題を抱えたケース



○対象者

- ・60代男性(父)
無職(年金収入)
糖尿病、心臓疾患あり
- ・30代男性(息子)
無職(失業保険受給中)
知的障がいあり

○依頼の経緯と内容

- ・息子と2人暮らし。
- ・家賃滞納で裁判となり、翌月に現在の借家を退去しなければならぬが、転居先が決まっていなかった。
- ・多額の債務を抱えている。
- ・過去に父から息子への暴力あり。
- ・地域包括支援センターを通じて、今後親子が別々に生活していけるよう、地域まるごと支援員へ支援依頼があった。

○支援状況

- (父)
- ・地域包括支援センターの協力にて介護保険を申請
 - ・生活保護を申請
 - ・「住まいサポートあさひかわ」*1の紹介で転居先を確保
 - ・成年後見制度利用に向けて、法人後見事業所に金銭管理を依頼

(息子)

- ・「あそと」*2の支援により一人暮らしを開始
- ・「きたのまち」*3の支援で就職活動中

○現在の状況

- (父)
- ・生活保護の受給が決定し、新たな住まいで介護保険のサービスを利用しながら生活
 - ・お金を手にするとすぐに使ってしまうため、週1回生活費を渡す支援を継続中
- (息子)
- ・現在も就職活動中



*1 「住まいサポートあさひかわ」 (旭川市住宅確保要配慮者 居住支援協議会)

高齢者、障がいのある方、生活困窮者など、住宅の確保に特に配慮を要する方(住宅確保要配慮者)に対して、不動産店と連携し民間賃貸住宅物件の情報提供を行う「協力不動産店制度」を実施しています。

(旭川市ときわ市民ホール内)

☎ 90-2003

*2 旭川市障害者総合相談 支援センター「あそと」

障がいのある方の地域生活を支援し、自立と社会参加の促進を図るために、専任の相談員が各種相談や情報の提供を行っています。

(旭川市障害者福祉センター
おびった内)

☎73-5936

*3 上川中南部障害者就業・ 生活支援センター 「きたのまち」

障がいのある方が、地域で安心・安定して働き続ける生活を送れるようにサポートすることを目的として支援しています。

(旭川市障害者福祉センター
おびった内)

☎38-1001



就職活動・就労定着に課題を抱えたケース



○対象者

- ・30代女性(娘)
就労中であるが退職予定
発達障がい(ADHD)
- ・60代女性(母)
無職

○依頼の経緯と内容

- ・娘から地域まるごと支援員へ、数年前に発達障がいの診断を受け、仕事や生活の面で悩みを抱えているとの相談があった。
- ・精神障害者保健福祉手帳を取得するか悩んでいる。
- ・同居する母親も腰が悪く仕事がなかなか見つからない。

○支援状況

- (娘)
 - ・地域まるごと支援員が情報提供と同行支援を行い、精神障害者保健福祉手帳及び生活保護を申請
 - ・きたのまちによる支援を受け、就職活動を開始
- (母)
 - ・「旭川市自立サポートセンター」*4 による支援を受け、生活保護を申請

○現在の状況

- (娘)
 - ・生活保護の受給が決定し、同じ発達障がいである当事者から話を聞くなどして、自分に合った仕事について整理している。
- (母)
 - ・生活保護の受給が決定し、腰の状態も安定してきたことから清掃の仕事を開始

8050問題を抱えた家族のケース



○対象者

- ・80代女性(母)
無職(年金収入)
- ・50代女性(娘)
無職。長年就労せず母親の介護や家事を担っている。
- ・50代男性(息子)
無職。長年就労せず債務あり。

○依頼の経緯と内容

- ・母親の年金収入のみで生活していた。
- ・母親が入院したことをきっかけに、今後の生活に漠然と不安を抱え、娘が親族へ相談。親族から民生委員へ相談、地域まるごと支援員へつながった。

○支援状況

- (母)娘の介護負担を減らすべく、介護サービスの利用に向け、地域包括支援センターの支援を受ける。
- (娘)就労に向け、旭川市自立サポートセンターによる支援を受ける。
- (息子)債務整理及び就労に向け、旭川市自立サポートセンターによる支援を受ける。

○現在の状況

- (母)介護認定を受け、デイサービスの利用を開始
- (娘)母親が介護サービスを受けるようになり、介護負担が軽減。新聞配達の仕事を開始
- (息子)債務整理を進め、同時に新聞配達の仕事を開始

*4 「旭川市自立サポートセンター」

仕事や生活にまつわる「経済的な悩み」などで困っている方の相談窓口です。困窮状態からの脱却のため、就労や家計改善に向けて、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。

(旭川市役所第2庁舎4階) ☎23-1134

自宅の環境整備に課題を抱えたケース



○対象者

- ・40代女性(独居)
- ・夫の死後、生活保護を受給中
- ・糖尿病、パニック障害にて通院中

○依頼の経緯と内容

- ・市役所の保護課ケースワーカーより、家の中がゴミでいっぱいになっている方がおり、支援してくれるところはないかと地域まるごと支援員へ相談があった。
- ・自宅内は、ゴミが積まれ、歩く場所が確保できないだけでなく、台所も使えず、洗濯機も壊れていた。

○支援状況

- ・家の中を片付けたいという意向はあるものの、1人で片づけるのは難しいとのこと。同意を得て、地域まるごと支援員と一緒に少しずつ片付けを行っていくこととなる。
- ・自宅を片付けた後も環境を維持するため、ヘルパー利用に向け、あそーとに支援を依頼。

○現在の状況

- ・生活保護受給中で、ゴミ袋購入の費用を一度に捻出できないため、生活費をやりくりしながら少しずつゴミ袋を購入し、関係機関の支援を受けながら一緒に片付けを行っている。
- ・ヘルパー利用に向け、申請手続きを進めている。

生活困窮と子供の養育に課題を抱えた家族のケース

○対象者

- ・50代男性
- ・うつ病により失業

○依頼の経緯と内容

- ・失業保険や様々な手当などでなんとか生活を送っており、一時的な出費増加で子供の学習費用や食べるものにも困っていると地域まるごと支援員へ相談があった。
- ・障害年金の診断書作成など依頼しているが、手続きに時間がかかり生活が困窮している。

○支援状況

- ・困窮状況と食材の有無を把握し、食材提供可能な窓口支援を依頼し、一時的な食糧支援を実施。
- ・子供の学習支援の場への情報提供と参加支援を実施

○現在の状況

- ・家計が危機的状況に陥っていないか定期的に状況を確認中
- ・家計の立て直しのために必要となる公的支援や支援窓口へのつなぎについて、相談者と支援員にて検討中

「地域貢献のために何かしたい！」という思いを持つ地域住民や団体からの相談や本通信に関する問い合わせがありましたら、ぜひ連絡してください♪



発行
・
お問合せ

旭川市地域まるごと支援員



〒070-0035

旭川市5条通4丁目893-1 旭川市ときわ市民ホール1階

社会福祉法人旭川市社会福祉協議会内



seikatsu-shien@asahikawa-shakyo.or.jp



23-0742



23-0746

#Facebook 更新中!



まちづくり・ボランティア
情報あさひかわ